平成30年4月15日執行

伊万里市長選挙公報

伊万里市選挙管理委員会

塚部 よしかず
つかべ芳和

昭和二十四年十二月二十九日生（六十八歳）
現住所　伊万里市立花町（立花台三丁目）
出身地　伊万里市波多津町
学　歴　伊万里高校・佐賀大学卒業
職　歴　現　伊万里市長

実績と信頼　伊万里市政は「つかべ」にお任せください！

私は五十一歳で公務員の職を投げ打って市長選挙に挑戦しました。以来、熱意を持って伊万里市の発展と活性化に全力で取り組んできました。市長の手腕、政治家としての信念と決断力、高い行政能力、政財界などに豊富な人脈を持った「つかべ芳和」が、伊万里市には必要であります。

重点約束

一、人口維持対策
　工業団地の整備による企業誘致・浦ノ崎地区埋立地の産業用地化・UターンのためのｉＴ、事務系企業誘致・移住定住奨励・いい職説明会・婚活支援

二、子育て支援、教育環境
　学校給食費と小中学生医療費の無料化・放課後児童クラブ対象年齢を六年生まで引き上げ・学校トイレの洋式化、水洗化と教室へのエアコン設置・伊万里中学校、大坪保育園、大坪公民館の建設・小児救急医療体制の充実

三、産業振興
　伊万里ブランド確立に向けた農林水産業への支援、連携・地場中小企業の育成、支援・有害鳥獣対策の強化・中心市街地の再生

四、楽しさと賑わいのあるまちづくり
　民間活力による健康長寿村とミニ動物園の整備・松島搦地区への新たな「道の駅」整備と商業施設誘致・クルーズ船寄港による国内外からの観光客誘致

五、安全で安心な暮らし
　災害時避難道路の整備・市内全域への防災行政無線の整備・高齢者の生きがい健康づくり・国民健康保険税と介護保険料の据え置き・消防団員の報酬改定・防災機能を備えた県立国見台体育館の整備

変えましょう、伊万里を♪
みんなの力で!!

＊伊万里に新しい風を！
＊子どもたちにさわやかな風を！

財政厳しい伊万里…市長・副市長への、退職金(-_-;)を廃止して

人づくり / まちづくりへの投資へ

- 中心市街地に大型商業施設を誘致し、市役所と複合施設化
- ４年間の任期中に、全ての教室へエアコンを設置
- 高齢者など交通弱者のための新たな地域交通対策
- 留守家庭児童クラブの時間延長と、日祭日に必要な方への開設
- 看護師・介護士・保育士・留守家庭児童クラブ支援員などの待遇改善

★「課題は現場にあり」。皆さんとの意見交換の場を持ちます
★予算の優先順位と使い方を総点検します
★常に市民の皆さんと共に歩みます

深浦（ふかうら） ひろのぶ
62歳

九州大学経済学部卒業
前　伊万里市産業部長
「いっと」初代編集責任者
立花町南ヶ丘区在住

初めまして。
名前は、井関新と申します。
この度、市民の皆さんと一緒に伊万里の未来を創りたくて立候補しました。
僕の目指す伊万里は、「自然豊かな国際自由都市です。」
人生を楽しめる街、そして世界に誇れる街づくりを目指しています。
　今の伊万里の最大の課題は少子高齢化だと思います。
しかも加速しています。
街には、若者と活気が何より必要です。
その為、僕はまず大学を創ろうと思っています。
いずれは総合大学を目指しますが、最初は語学の学部から始めたいです。
その次に、市民オーケストラを創りたいです。
この二つだけでも街が盛り上がると思いませんか。
他にも思い描いていることはたくさんあります。
例えば、難民の受け入れ。自然エネルギーへの移行。３Ｒのうちの
リユーズの部分の強化。これから造る（改築する）小、中学校の校舎は
すべて木造にする。歩行者専用の土の道路を創る（通学路など）等々。
３０年後、１００年後の伊万里を夢見て、一緒に頑張ってみませんか。
お金の足りないところは、創意と工夫と人海戦術で乗り切りましょう。
　貧乏でも笑って暮らせる社会を一緒に創ってみませんか。
本当に大切なものは目には見えない所にあると思います。
前に進む人にのみ未来は開けると思います。
僕と一緒に一歩前へ進みましょう。

井関　新

昭和３０年１１月２３日生まれ
佐賀県立伊万里高等学校卒業
同志社大学法学部政治学科卒業

（この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真製版で印刷したものです。）